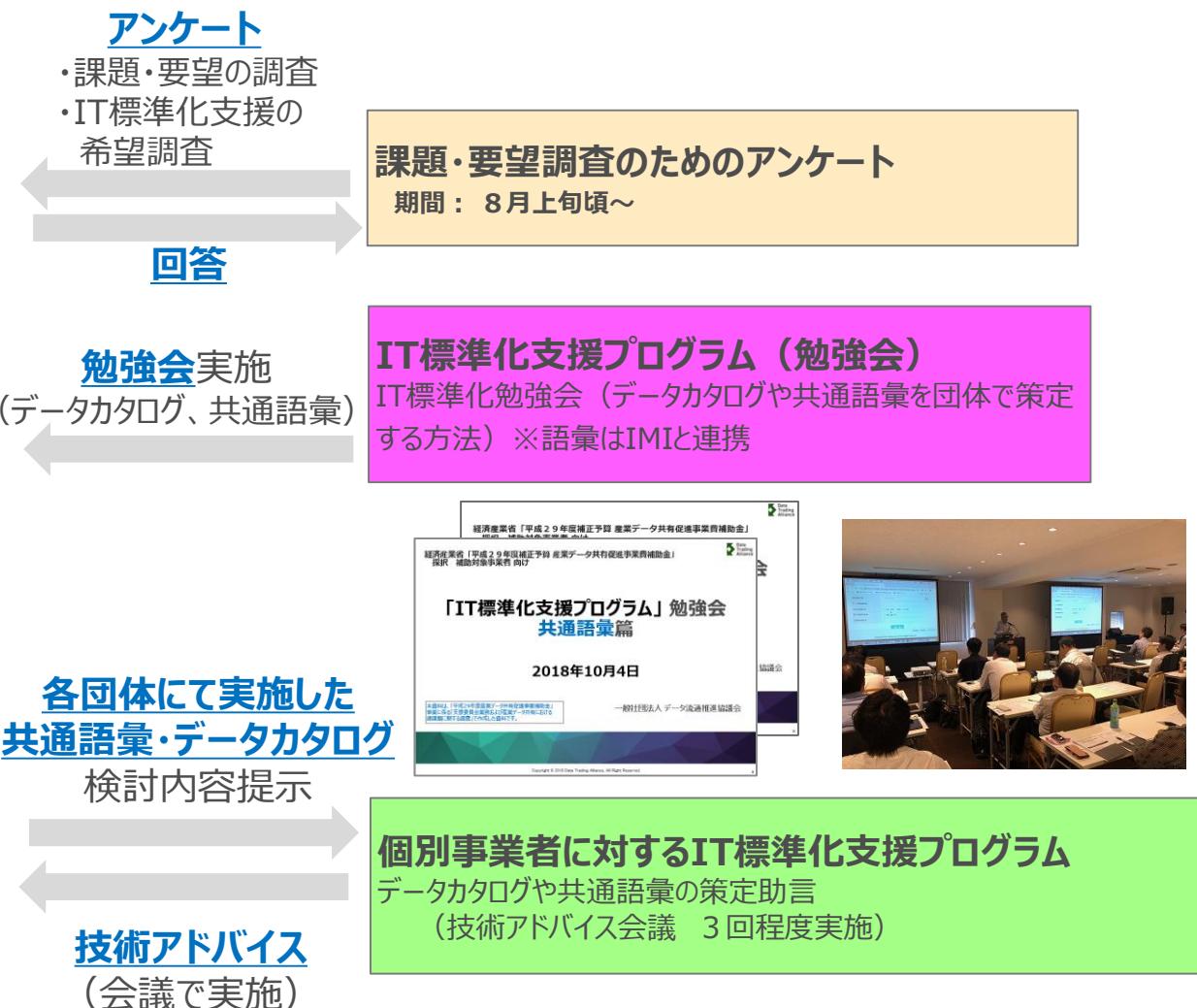
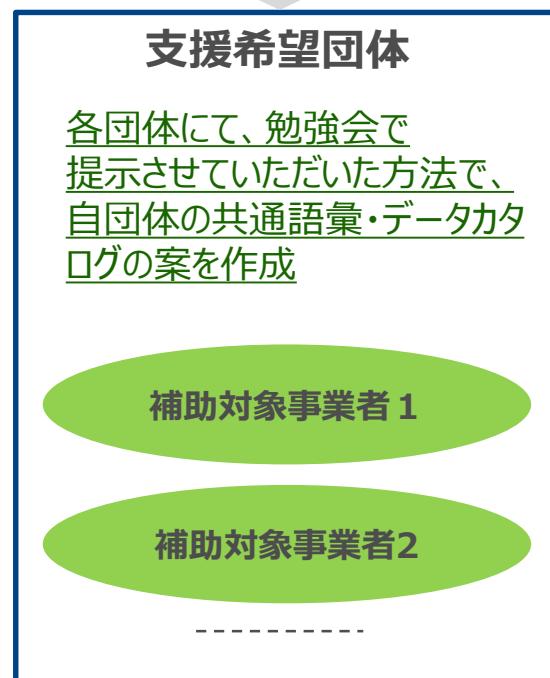


# データ流通推進協議会における IMIに関する取組

2019年2月19日

一般社団法人 データ流通推進協議会  
(株式会社日立製作所  
: 所属 株式会社日立コンサルティング)  
山田

データ流通推進協議会では、補助事業者へのIT標準化に関する勉強会や個別支援を実施。データカタログや分野ごとの共通語彙の策定手順を中心に支援を実施。

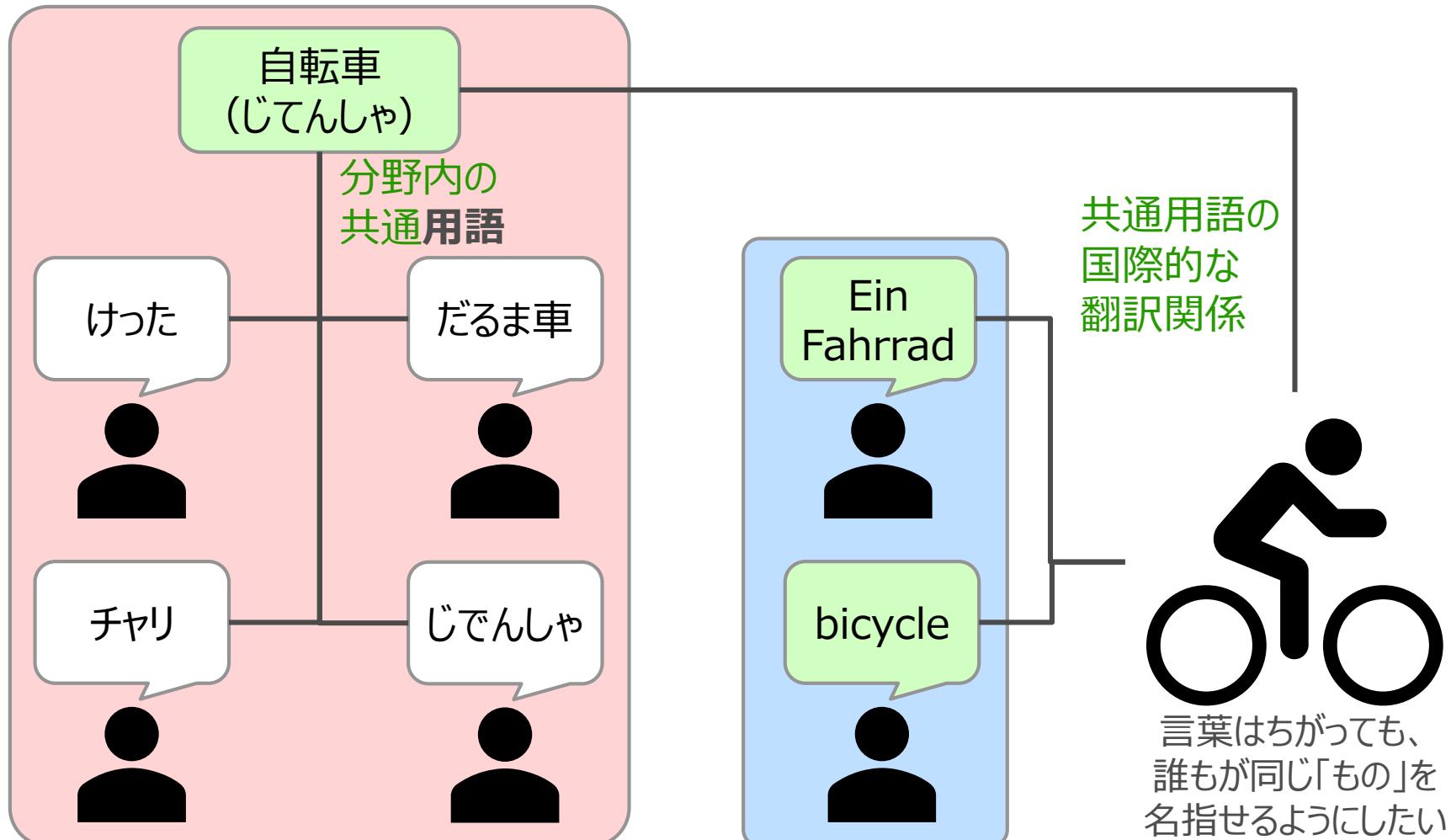


「語彙とは」というベーシックな内容から、IMIを用いた「ドメイン語彙の策定ステップ」までを整理した教材を作成

## 共通語彙教材 目次

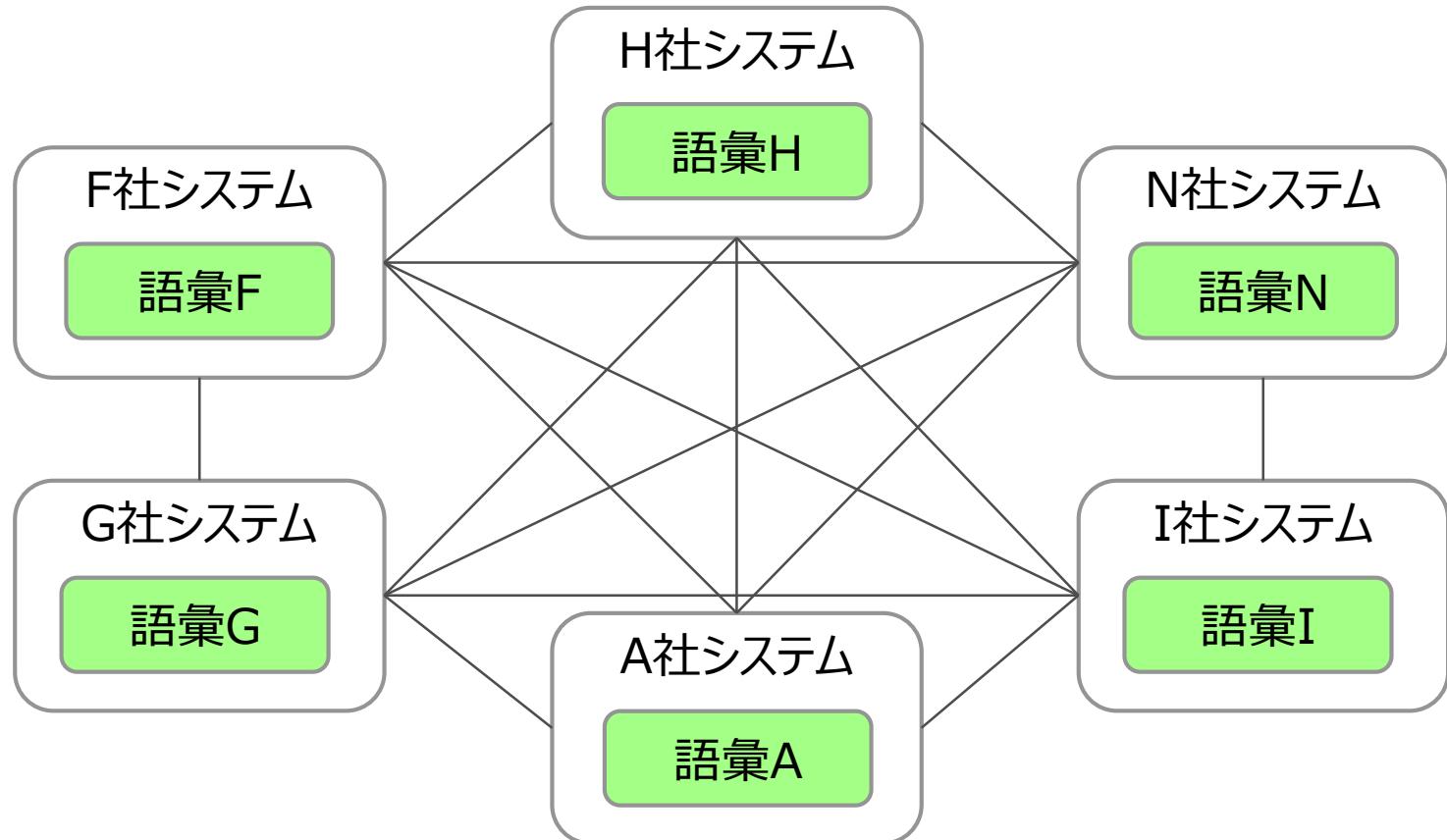
1. そもそも「語彙」とは何か？
2. 「語彙」を揃える意義
3. IMI（共通語彙基盤）の概要
4. ドメイン語彙の策定（作業概要）
5. ドメイン語彙の策定 作業ステップ

誰もが「どの語も、同じものを指す」と理解したうえで、異なる「用語」を代表する「共通用語」があれば、意味が通じる。



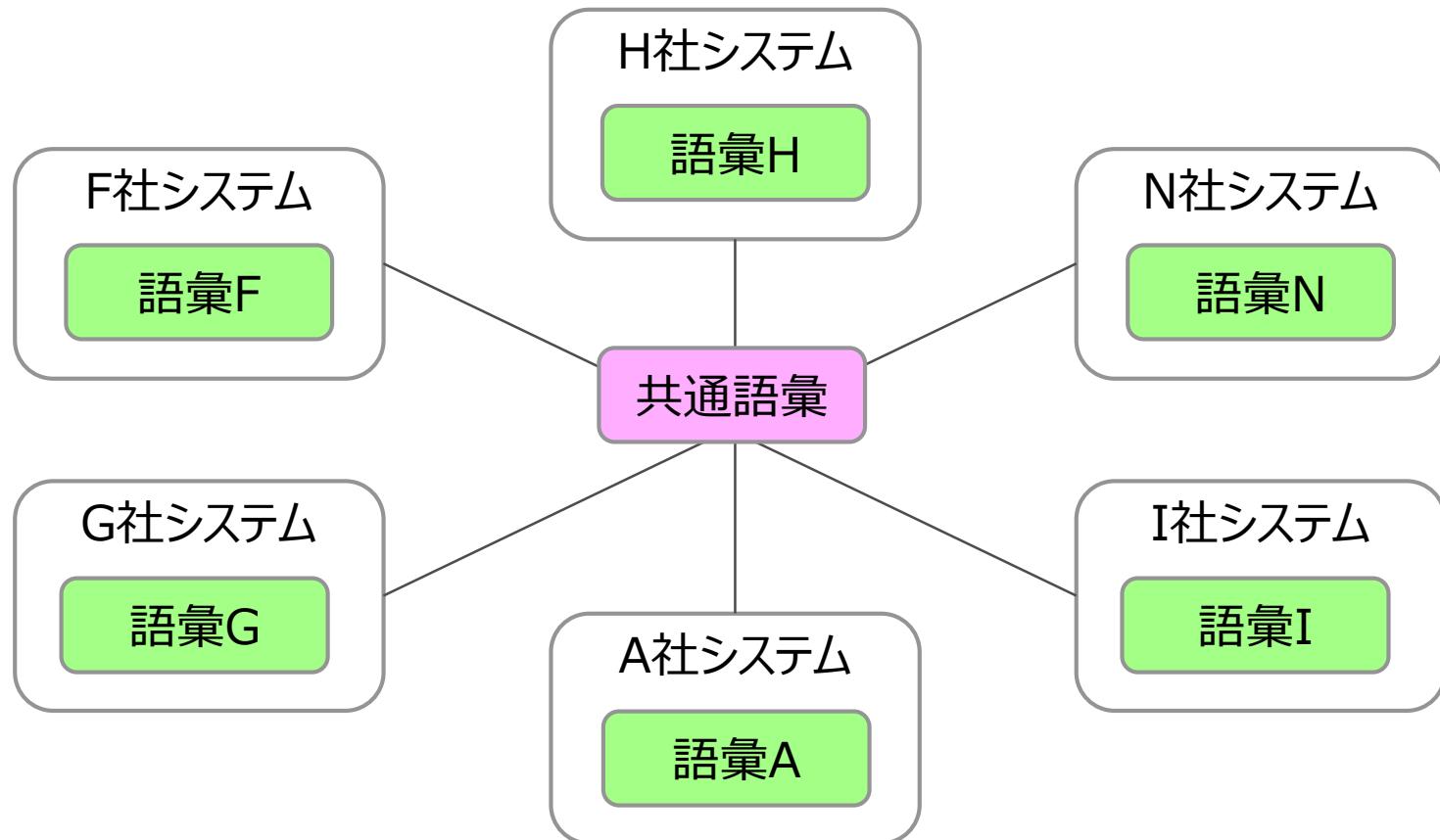
ITにおける語彙も、分野やシステムごとに異なることが多い。  
語彙の異なるシステム間で、その度ごとに個別調整していると、  
システムが増えれば増えるほど、膨大な「調整」が生じて非効率。

例：6社のシステムの語彙がすべて異なると、なんと15回分もの「個別調整」が必要。大いなる無駄。



データ交換「語彙」を揃える意義とは？

# 将来のコストが減ること



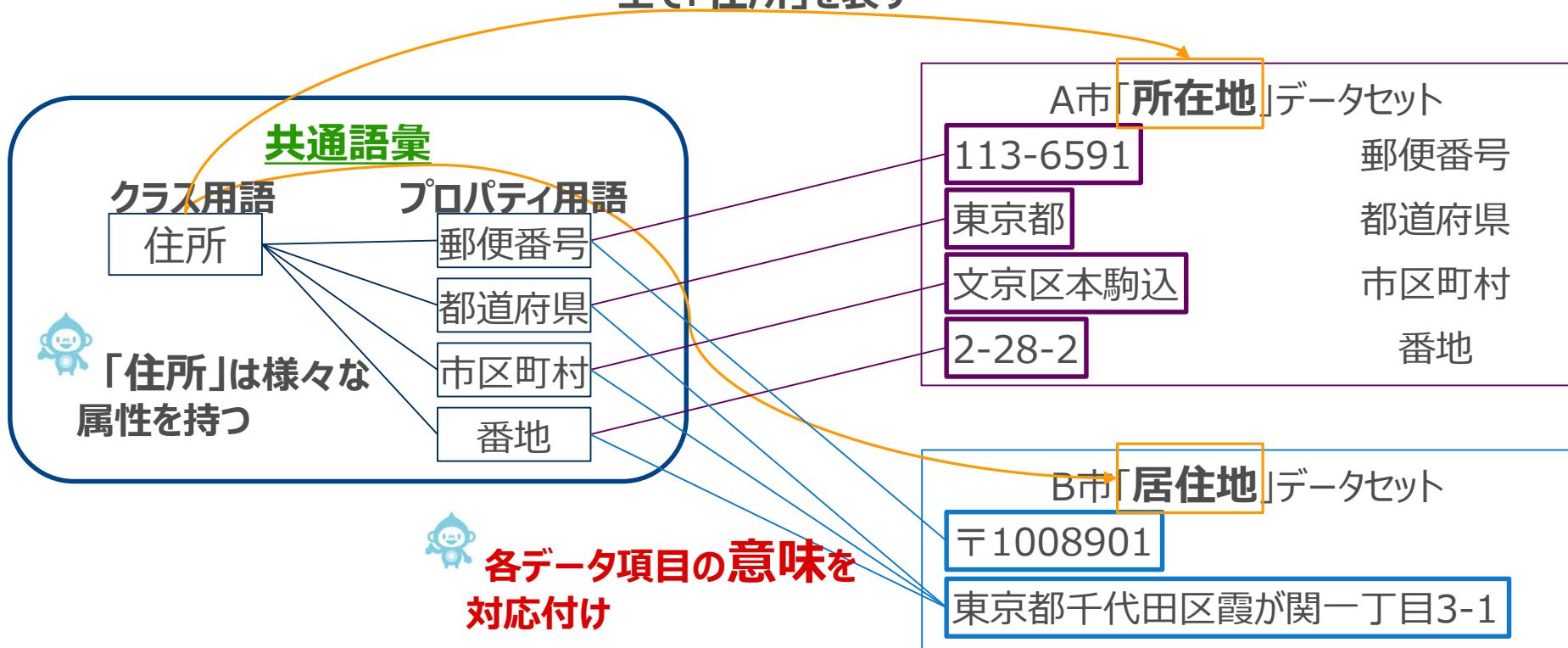
## IPA IMI（共通語彙基盤）とは

- ・略称：Infrastructure for Multi-layer Interoperability
- ・推進委員会は経済産業省が設置し、IPAが事務局
- ・内閣府「Society5.0実現に向けたデータ連携基盤」でも、他の標準化政策と合わせて重点化
- ・政府の基本戦略「未来投資戦略」「統合イノベーション戦略」の具体的政策の実現手段としてとりあげられる

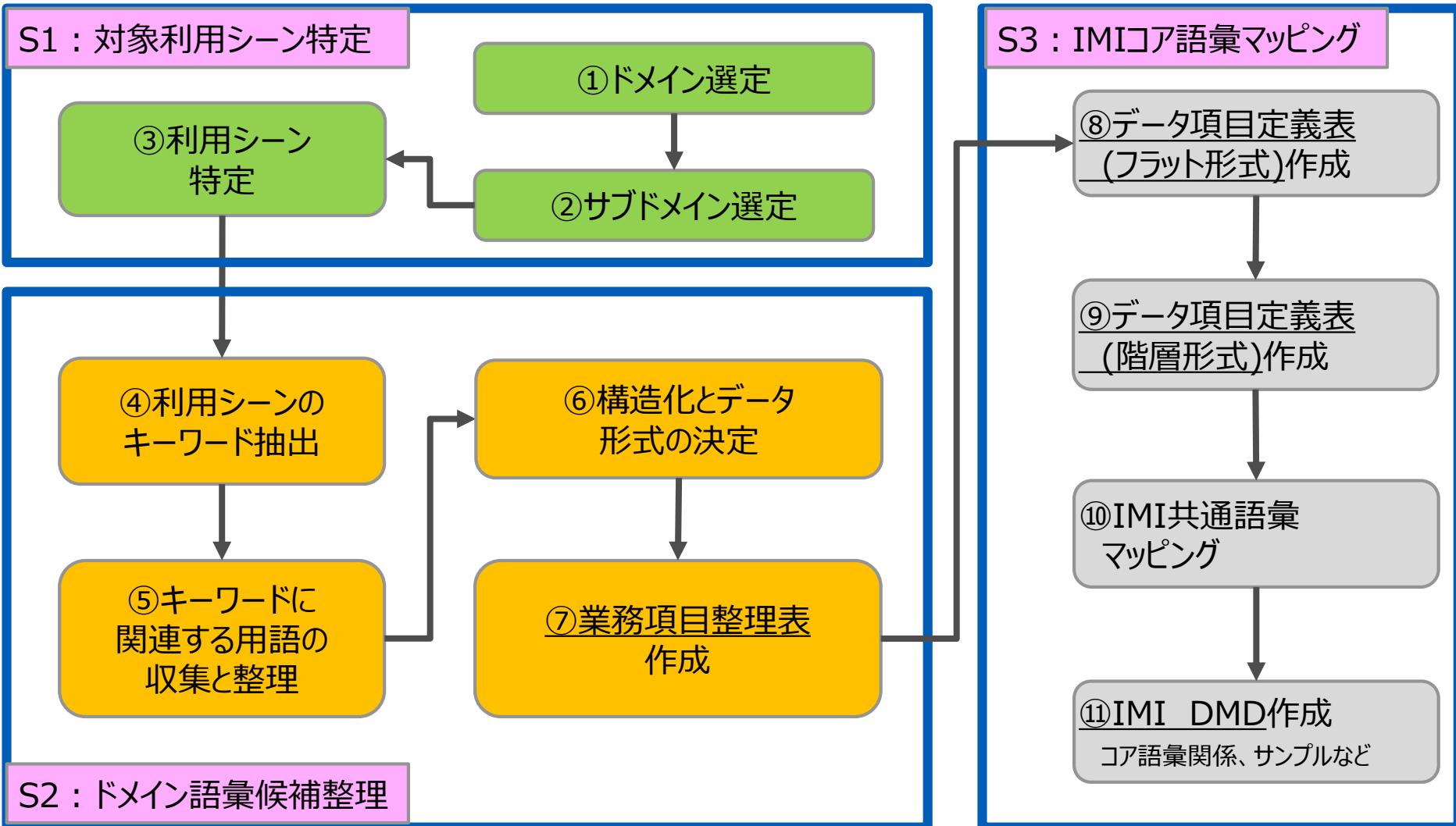
**IMIは「意味」を揃えることを目指すもの。**



全て「住所」を表す

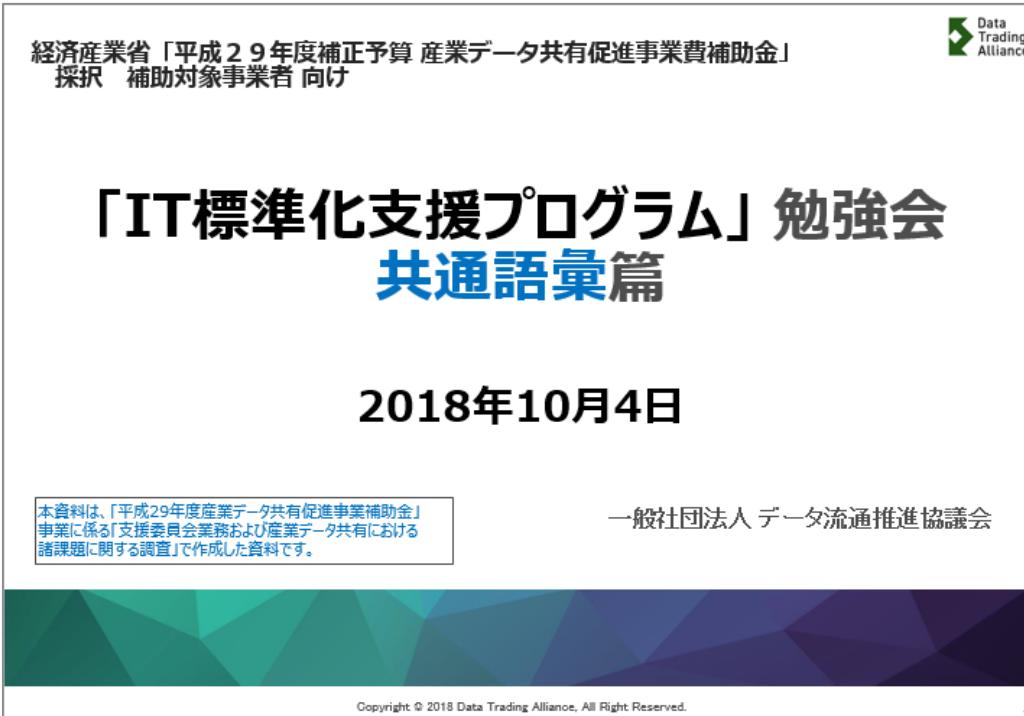


# 共通語彙教材コンテンツ抜粋（4. ドメイン語彙の策定）



# SII（環境共創イニシアティブ）の 産業データ共有促進事業のHPにて公開中

[https://sii.or.jp/datasshare29r/uploads/sangyodata\\_kyotsugoi.pdf](https://sii.or.jp/datasshare29r/uploads/sangyodata_kyotsugoi.pdf)



経済産業省「平成29年度補正予算 産業データ共有促進事業費補助金」  
採択 補助対象事業者 向け

Data  
Trading  
Alliance

## 「IT標準化支援プログラム」勉強会 共通語彙篇

### 2018年10月4日

本資料は、「平成29年度産業データ共有促進事業費補助金」事業に係る「支援委員会業務および産業データ共有における諸課題に関する調査」で作成した資料です。

一般社団法人 データ流通推進協議会

Copyright © 2018 Data Trading Alliance, All Right Reserved.